

第2学年 国語科		年間指導計画・評価規準・評価計画				
月	指導計画	評価規準			評価方法	
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	<p>巻頭詩 計1時間</p> <p>1 広がる 学びへ</p> <p>計10時間</p>	<p>見えないだけ</p> <p>アイスプラネット</p> <p>[聞く] 問いを立てながら聞く 季節のしおり 春 枕草子 [書く] 自分流「枕草子」を書こう</p> <p>情報整理のレッスン 思考の視覚化 多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る</p>	<p>抽象的な概念を表す語句・語彙を豊かにしている。</p> <p>登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読んでいる。</p> <p>提案された意見とそれを裏付けるための根拠を区別して捉えている。</p> <p>現代語訳や語注を手掛かりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。</p> <p>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p> <p>集めた情報を表や図にまとめ、整理している。</p> <p>熟語の構成を意識し、漢字を読み書きしている。</p> <p>漢字の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。</p> <p>行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。</p>	<p>表現の種類や効果を捉え読もうとしている。</p> <p>「ぐうちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を人物相関図にまとめている。</p> <p>提案内容を理解し、その要点を的確にメモしている。</p> <p>作者の考えと自分の考えとを比較し、感じたことをまとめ生活を振り返り、自分流の季節感を表している。</p> <p>調べてみたい職業を決め、知りたいことに適した方法を考え、情報を収集している。また、収集した情報を分類・整理し、自分の目的に合うものを取捨選択している。</p> <p>第1学年までの常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。</p> <p>書き方を確かめている。</p> <p>小筆で「枕草子の冒頭」を書くなかで、行書に調和した仮名の書き方を確かめている。</p> <p>文章全体と部分との関係に注意し主張と例示との関係を捉え図表やグラフが対応する文章を基に考えている。</p> <p>複数の情報を抽象化し具体例を挙げ説明している。</p> <p>プレゼンテーションソフトやフリップなどを用いて、提案内容が視覚的にもわかるよう工夫している。</p> <p>適切な情報を得るために、メディアの特性を捉え、発信者や配信日時、その文章が書かれた目的などを確認することが重要であると気づいている。複数の情報メディアを比較し、それぞれの特徴について考えている。目的や状況に応じて、どのようなメディアで情報を集めたらよいか、考えている。</p>	<p>進んで語感を磨き、朗読しようとしている。</p> <p>積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p> <p>意見と根拠の結び付きに注意して聞き、疑問点や確認したい点を明確にしている。</p> <p>進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。</p> <p>学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。</p> <p>粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。</p> <p>積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>進んで硬筆の書き方を理解し、書こうとしている。</p> <p>進んで行書に調和した仮名の書き方を理解し、学習課題に沿って「枕草子の冒頭」を書こうとしている。</p> <p>積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。</p> <p>積極的に具体と抽象を理解しようとしている。</p> <p>粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもって伝えようとしている。</p> <p>積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。</p> <p>粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・国語ワーク点検 ・ワークシート点検 ・作文シート点検 ・発表 ・定期考査 ・学習の記録 (振り返りシート) ・漢字学習記録など
5	<p>1. 読みやすく速く書くための行書と楷書 楷書（硬筆） （書写）計2時間</p> <p>行書（毛筆・小筆） （書写）計3時間 計14時間（書写含む）</p> <p>2 多様な視点から</p>	<p>漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1</p> <p>行書に調和する仮名 （枕草子の冒頭を小筆で行書）</p> <p>クマゼミ増加の原因を探る 思考のレッスン1 具体と抽象 魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする</p> <p>漢字に親しもう2 文法への扉1 単語をどう分ける？</p> <p>メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう</p>	<p>話や文章の構成や展開について理解を深めている。</p> <p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>相手が自ら動きたいと思えるような言葉や表現を用いてプレゼンテーションをしている。</p> <p>文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。</p> <p>自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めている。</p> <p>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。→情報メディアの特徴を、表や図などにまとめている。</p>	<p>文章全体と部分との関係に注意し主張と例示との関係を捉え図表やグラフが対応する文章を基に考えている。</p> <p>複数の情報を抽象化し具体例を挙げ説明している。</p> <p>プレゼンテーションソフトやフリップなどを用いて、提案内容が視覚的にもわかるよう工夫している。</p> <p>適切な情報を得るために、メディアの特性を捉え、発信者や配信日時、その文章が書かれた目的などを確認することが重要であると気づいている。複数の情報メディアを比較し、それぞれの特徴について考えている。目的や状況に応じて、どのようなメディアで情報を集めたらよいか、考えている。</p>	<p>積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。</p> <p>積極的に具体と抽象を理解しようとしている。</p> <p>粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもって伝えようとしている。</p> <p>積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。</p> <p>粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。</p>	
6	<p>情報社会を生きる</p>	<p>メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう</p>	<p>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。→情報メディアの特徴を、表や図などにまとめている。</p>	<p>適切な情報を得るために、メディアの特性を捉え、発信者や配信日時、その文章が書かれた目的などを確認することが重要であると気づいている。複数の情報メディアを比較し、それぞれの特徴について考えている。目的や状況に応じて、どのようなメディアで情報を集めたらよいか、考えている。</p>		

7	<p>3 言葉と向き合う</p> <p>2. 読みやすく速く書くための行書 行書（毛筆） （書写）計3時間 計15時間（書写含む）</p>	<p>短歌に親しむ</p> <p>短歌を味わう</p> <p>[書く] 短歌を作ろう</p> <p>言葉の力</p> <p>言葉1 類義語・対義語・多義語</p> <p>言葉を比べよう</p> <p>もっと「伝わる」表現を目ざして</p> <p>読書を楽しむ</p> <p>翻訳の作品を読み比べよう</p> <p>星の王子さま</p> <p>読書コラム「わからない」は人生の宝物</p> <p>読書案内 本の世界を広げよう</p>	<p>情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。また、情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。</p> <p>言葉に対する筆者の考え方を捉え、自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。</p> <p>類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。</p> <p>抽象的な概念を表す言葉について理解し、類義語の微妙な違いを考えることを通して語感を磨いている。</p> <p>活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読みたいかを考えている。</p> <p>翻訳の違いによって作品の印象が異なることを知り、他の翻訳作品を楽しもうとしている。</p> <p>本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。</p>	<p>複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。学習した短歌の形式や表現の工夫を参考に短歌を作っている。小筆で「創作した短歌」を書き、行書に調和した仮名の書き方を確かめている。</p> <p>言葉に対する筆者の考え方について自分の考えをもち、話し合っている。</p> <p>さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、本の魅力や感想を共有しようとしている。</p> <p>二人の翻訳者による「星の王子さま」を比較し、表現の違いによる作品の印象の違いについて発表している。</p> <p>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見直しをもって短歌を創作しようとしている。</p> <p>進んで行書に調和した仮名の書き方を理解し、学習課題に沿って「創作した短歌」を書こうとしている。</p> <p>進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、伝え合おうとしている。</p> <p>今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句を理解しようとしている。</p> <p>今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。</p>	
8	<p>読書生活を豊かに</p> <p>計5時間</p> <p>計2時間</p> <p>4 人間のきずな</p>	<p>季節のしおり 夏</p> <p>盆土産</p> <p>字のない葉書</p>	<p>作品中の「夏」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。</p> <p>登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、それらが作品に与える印象を述べている。</p> <p>表現に着目して人柄や心情を読み取り、それを生かして他の随筆を読んでいる。</p>	<p>夏の行事・暦に関わる言葉や、夏の情景を詠んだ詩歌を味わい、伝統的な言語文化に親しもうとしている。</p> <p>登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。</p> <p>本文の前半部分と後半部分の人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。</p>	<p>これまでの読書生活を振り返り、豊かにするためにできることを具体的に考えている。</p> <p>伝統的な言語文化に関して、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p> <p>粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。</p>	
9	<p>聞き上手になろう</p> <p>計16時間</p>	<p>質間で思いや考えを引き出す</p> <p>表現を工夫して書こう</p> <p>手紙や電子メールを書く</p> <p>[推敲]表現の効果を考える</p>	<p>どのように質問をすると、相手がさらに話したくなるかを考えている。</p> <p>相手や目的に応じて、敬語を適切に使って通信文を書いている。どのような言葉を選ぶのかを考えている。</p> <p>手紙を推敲し、適切な敬語に書き改めている。</p>	<p>話の要点や全体像を考えながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。</p> <p>自分の考えが伝わるように、通信文を書いている。</p> <p>読み手の立場に立って手紙を推敲し、気持ちがより伝わるような表現に書き改めている。</p>	<p>進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</p> <p>粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かし思いや考えを引き出す質問をしようとしている。</p> <p>積極的に自分の考えが伝わるように工夫し、通信手段を選び、通信文を書こうとしている。</p>	
10	<p>2. 読みやすく速く書くための楷書 楷書（硬筆） （書写）計2時間</p>	<p>言葉2 敬語</p>	<p>敬語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深めている。</p>		<p>粘り強く文章を整え、手紙を推敲しようとしている。</p> <p>積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。</p>	

10	計 1 6 時間 (書写含む)	漢字 2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう 3	文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いて りしている。 漢字の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	楷書で仮名や文字の大きさとなど生かし書いている。	積極的に同音異義語を理解しようとしている。 進んで硬筆の書き方を理解し、書こうとしている。	
11	5 論理を捉えて 計 1 5 時間	モアイは語る ——地球の未来 思考のレッスン 2 根拠の吟味 根拠の適切さを書こう 意見文を書く 漢字に親しもう 4 [討論]異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する 音読を楽しもう 月夜の浜辺 季節のしおり 秋	筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられ ているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している。 自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでる。 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係につ いて理解している。 文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係につ いて理解している。 説得力のある根拠と共に、意見をまとめている。 詩の中の語句に着目し、詩全体の世界を豊かに想像して いる。作品中の「秋」を感じさせる言葉に着目し、情景 を想像している。	文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論の進 め方を吟味している。 根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に 対する意見を示したりしている。 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導く ために考えをまとめている。互いの意見の共通点や相違 点、話し合いの論点を踏まえて話している。 詩の中の反復表現、対句表現、反語表現に着目し、その 効果を考えている。	粘り強く論理の展開を考え、筆者の主張に対する自分 の考えを文章にまとめようとしている。 粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって 意見文を書こうとしている。 積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 進んで意見と根拠の関係を理解し、今までの学習を生 かし異なる立場の人の意見を想定しようとしている。 互いの立場や考えを尊重し、討論しようとしている。 進んで表現の効果について考え、今までの学習を生か して詩を朗読しようとしている。積極的に語感を磨き、 言語文化を大切にしようとしている。	
12	6 いにしえの心を訪ねる 2. 読みやすく速く書くた めの行書 行書(毛筆) (書写)計 3 時間 計 1 2 時間 (書写含む)	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 扇的 ——「平家物語」から 仁和寺にある法師 ——「徒然草」から [書く]人物の特徴を捉えて論じよう 漢詩の風景	古典の文章独特のリズムを捉えて朗読し冒頭部分の 現代語訳を読み、「無常観」を感じ取っている。 与一や義経の言動、扇的を射落とした後の人々の反応 に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。 古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読してい る。現代語訳や語注などを手掛かりにし、法師の言動や 作者のものの見方、考え方を理解している。 行書に調和した漢詩を読みやすく速く書いている。 漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。	扇的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の 言動の意味について考え、作品を読み深めている。 文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じる 文章を書いている。 好きな漢詩を構成や表現の効果を伝え合っている。	進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題 に沿って考えたことを伝え合おうとしている。積極的に 考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをも って登場人物について論じる文章を書こうとしている。 小筆で行書で調和した漢詩の書き方を確かめている。	
1	7 価値を語る 計 1 1 時間	君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ 魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く 漢字に親しもう 5 文法への扉 2 走る。走らない。走ろうよ。	筆者が、どのような例示(具体)を基に、「最後の晚餐」 を「かっこいい。」(抽象)と述べているのかを理解して いる。二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・ 相違点を表に整理している。 用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解 している。	二つの文章に書かれていることを比較したり、関係づけ たりしながら、それぞれの文章が書かれた目的や意図を 考えている。文章の構成や表現の特徴について、二つの 文章を比較して発見したことを発表している。	理由を説明し作品の特徴を生かして朗読している。 粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学 習を生かして考えたことを文章にまとめようとしてい る。 今までの学習を生かして、積極的に単語の活用につい て理解しようとしている。	
2						

3	<p>計14時間</p> <p>8 表現を見つめる</p> <p>計6時間</p> <p>3. 文字を使い分ける 楷書（硬筆） （書写）計2時間</p> <p>計5時間（書写含む）</p>	<p>研究の現場によろこ</p> <p>日本に野生のゾウやサイがいた頃</p> <p>クモの糸でバイオリン</p> <p>読書案内 本の世界を広げよう</p> <p>季節のしおり 冬</p> <p>走れメロス</p> <p>[書く] 作品の魅力をまとめ、語り合おう</p> <p>漢字に親しもう6</p> <p>文法への扉3 一字違いで大違い</p> <p>構成や展開を工夫して書こう</p> <p>「ある日の自分」の物語を書く</p> <p>言葉3 話し言葉と書き言葉</p> <p>漢字3 送り仮名</p> <p>国語の学びを振り返ろう</p> <p>テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る</p> <p>木</p> <p>学習を振り返ろう</p>	<p>教材文を通して研究者の考え方や探求心に触れ、研究に関わるさまざまな本を読もうとしている。</p> <p>作品中の「冬」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。</p> <p>「メロス」や「王」の言動に着目して、人物の考え方や心情の変化を読み取っている。</p> <p>文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。</p> <p>助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別している。</p> <p>これまでに学習した作品の構成や展開を振り返り、どんな点を自分の文章に生かしたいかを考えている。</p> <p>話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際の注意の必要性を考えている。</p> <p>送り仮名に注意し漢字を読んだり書いたりしている</p> <p>結論を見出しに、詳細を本文に書くなど、構成を工夫して記事を書いている。壁新聞のテーマを話し合う際に出た意見を、表などを用いてまとめている。</p> <p>目的や必要に応じて、文字を選んで(楷書または行書)を選んで書いている。書くことの意義を理解している。</p> <p>「愛」、「正義」などの抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。</p> <p>言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。敬語の働きを理解し、電子メールの下書きを推敲している。根拠を明確にして、卒業生に贈る言葉について書いている。</p>	<p>教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合っている。</p> <p>起承転結の構成を考え、場面の展開が明確になるように、場面の出来事や心情を整理している。書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。</p> <p>壁新聞のテーマと内容について、お互いの意見の共通点・相違点を明らかにし話し合い、結論を導いている。目的や必要に応じて文字を選んで書くことの意義を確かめている。伝えたいことの優先順位を考えて、記事の大きさや割り付けを工夫している。</p> <p>自分の知識や経験と結び付けて、作者のものの見方について考えている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。</p>	<p>本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。</p> <p>伝統的な言語文化に関する学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p> <p>登場人物の人物像や表現のしかたなど、観点を明確にして作品の魅力を文章にまとめようとしている。</p> <p>言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。</p> <p>粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。</p> <p>今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。</p> <p>学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとしている。</p> <p>文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。</p> <p>進んで書体を選択して書く必要性を理解し適切な書体を選んで書こうとしている</p> <p>進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。</p> <p>進んで登場人物の設定のしかたや根拠の適切さを考え、今までの学習を生かして、学習課題に取り組もうとしている。</p>	
---	--	---	---	---	---	--